

2026 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 ミナトホールディングス株式会社  
代 表 者 代表取締役会長兼グループCEO 若山 健彦  
(コード：6862、東証スタンダード)  
問合せ先 常 務 取 締 役 C F O 三宅 哲史  
(TEL 03-5733-1710)  
<https://www.minato.co.jp/>

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025 年 11 月 28 日に公表した 2026 年 3 月期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2026 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） (2025 年 11 月 28 日公表)	百万円 26,565	百万円 1,376	百万円 1,235	百万円 796	円 銭 106.89
今回修正予想（B）	30,130	3,029	2,788	1,689	226.81
増減額（B－A）	3,565	1,653	1,553	893	—
増減率（％）	13.4	120.1	125.7	112.2	—
（ご参考）前期実績 (2025 年 3 月期)	24,540	767	582	373	50.36

#### 2. 修正の理由

2026 年 3 月期第 3 四半期累計期間におきましては、当社グループの主要な市場である半導体関連市場において、メモリーメーカーが生成 AI 関連製品の生産に注力したことにより、特に PC やスマートフォン向け等の半導体メモリーにおいて需給の逼迫が生じ、メモリー価格の上昇が進行いたしました。これにより、デジタルデバイスのセグメント収益が大きく向上し、グループ全体の業績を牽引いたしました。また、デジタルエンジニアリング、ICT プロダクツの増収に加え、新たにブレーンとダイキサウンドが連結範囲に加わった結果、売上高および各利益は第 3 四半期末時点において過去最高となりました。

これらの状況を背景に、2025 年 11 月 28 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表した 2026 年 3 月期通期連結業績予想を、さらに上方に修正することといたしました。

なお、本業績予想の修正に伴う年間配当予想（1株当たり15.0円）につきましては、現時点では変更していませんが、将来の成長に向けた投資、事業展開の進捗状況、経営成績等を総合的に勘案のうえ検討しており、決定次第、速やかにお知らせいたします。

※上記の予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績等は今後様々な要因により、当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上